




第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度取組結果（成果・課題）		自己評価		参考
				平成28年度取組結果（成果・課題）	平成29年度取組内容	H28	(H27)	
基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館								
◆施策の方向性1◆ — 幅広い分野の資料の収集 —								
1	図書館サービス係	■蔵書構成の再構築	限られた財源の中で、幅広く役立つ本を収集するために、次の手順を踏む ◆現状構成の分析 ⇒◆選定決定手順見直し ⇒◆選定基準の見直し（複本・保存・更新も含む） なお、全館に関わる事柄であるため、プロジェクトを設立して24年度末を目途に検討	【H28結果】 限られた財源の中で、蔵書構成の再構築を進めるため、寄贈図書の有効活用や施設数が多く予算も大きい「区民・地区センター図書室」の選書の管理を行う等効率化を推進した。 【H29目標】 蔵書構成の再構築推進に向け、更に再構築の方針に沿った資料収集を進める。	⇒	○	○	【蔵書構成の推移】 0% 20% 40% 60% 80% 100% H23 H28 ■総記 ■哲学 ■歴史 ■社会科学 ■自然科学 ■技術・工学 ■産業 ■芸術 ■言語 ■文学 ■児童書 ■参考資料 ■郷土資料
2	調査相談係	■郷土・行政資料の積極的な収集	◆現状分析（内部調査実施済） ◆公文書館と連携し、郷土・行政資料を確実に収集 ◆地区図書館、区民・地区センター図書室と連携した郷土・行政資料の収集方針の検討・改善	【H28結果】 郷土・行政資料の収集は地区図書館等、公文書館含め、多方面から積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。札幌市出資団体・企業史等の発行情報収集に留意したほか、札幌市のみでなく、市政に生かせるような道内市町村独自の発行物も幅広く収集した。道と連携し行政資料収集を推進した。 【H29目標】 引き続き、郷土・行政資料の発行情報把握に努め、公文書館、地区図書館等との連携を継続していく。また道行政情報センターと引続き連携し、道の行政資料を収集していく。	⇒	○	○	【郷土資料数】 92,566点（平成24年度末） →104,912点（平成28年度末） ●札幌市図書館HP「デジタルライブラリー」
3	調査相談係	■視聴覚資料の継続的な収集	◆機器更新（H23年度）を踏まえ、新媒材（ブルーレイディスク等）への対応推進 ◆所蔵点数増加に伴う貸出点数増の検討	【H28結果】 28年度登録点数（2月19日現在） CD：中央図書館ほか3館計約1,000点 DVD（中央図のみ）138点。新たな音声資料として、電子図書館に英会話学習の音声コンテンツ19点を受入れ。また、10月27日から、ちえりあのCD約12,000点が統合され、図書館においても利用可能になった。しかし、1万点近い資料のデータ整備が必要なのが判明、12月から臨時職員1名が登録作業を開始し、1月末現在約300点が終了。保存棚不足は解消されていない。 【H29目標】 大規模改修に伴い、視聴ブースは休止となる。厳しい財政状況の中での収集方針の検討。CD、DVDの棚不足対策、ビデオテープ、レーザーディスクの保存場所を検討。図書館用として著作権許諾されたブルーレイディスクの発売は、将来的に不透明な状態が続いているため、今後も動向を注視していく。	⇒	○	○	【視聴覚資料数の推移】 30,000（点） 14,327 15,037 16,195 17,224 17,567 962 962 962 962 960 3,371 3,533 3,706 3,841 3,903 3,111 3,058 3,057 3,051 3,048 3,033 3,077 3,004 3,004 3,003 ■CD ■カセット ■ビデオ ■DVD ■LD
◆施策の方向性2◆ — 分かりやすく、使いやすい情報提供 —								
4	調査相談係	■レファレンス※1資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供（紙媒体とHP版）	【H28結果】 商用データベースのパンフレットを配布するなど、周知に努めた結果、利用件数は前年度比で約10%増加し、印刷枚数も約10%増加した。 パスファインダー※2はWeb版も含めて改訂を進めた。また、情報ガイドについては9点作成した。 【H29目標】 大規模改修に伴い利用者検索用オンラインデータベースが休止となる。（職員が代行検索） 商用データベースの利用促進のため、パンフレットの配布などでPRを行う。 パスファインダーは引き続き改訂作業を進める。新規作成を要するものは別途対応。 ブックリストや情報ガイドの作成も同様。	⇒	○	△	●商用データベース端末（中央図書館）
5	調査相談係	■非来館型レファレンスサービスの充実	◆メールレファレンスの検討と開始 ◆HP（ホームページ）上でレファレンス事例集・FAQ・パスファインダーを提供	【H28結果】 メールレファレンスの回答の質を向上させるため、回答内容を整理し、業務端末から参照できるようにしている。利用件数は前年度比で約10%増加した。 HP上で「レファレンス事例集・FAQ」を25件公開した、パスファインダーについては改訂を進めた。 【H29目標】 大規模改修に伴いメールレファレンスの増減がどうなるかは不明であるが、引き続きメールレファレンスの回答内容の整理・検討により、回答の質の向上を図っていく。 HP上で「レファレンス事例集・FAQ」の公開やパスファインダー改訂を進める。	⇒	○	○	【メールレファレンス件数の推移】 150（件） 100 110 120 H26 H27 H28
6	調査相談係	■他の図書館との情報共有の推進	◆レファレンス協同データベースへの事例提供・公開（H23年度開始） ◆NDLサーチ（国立国会図書館サーチ）への円滑なデータ移行、所蔵目録送付の継続等により、全国の図書館が保有するデータの共同利用を推進	【H28結果】 北海道や札幌市に関係した事例を中心に25事例（28年12月時点）をレファレンス協同データベースに提供した。27年度は31件事例を公開しており、28年度は39件である。 【H29目標】 レファレンス協同データベースへの事例提供は郷土に関係した事例以外にも積極的に進めていく。大規模改修に伴いレファレンス数の減少が予想されるがメールなど非来館型のレファレンス対応を強化することによって、積極的な提供を目指す。	⇒	○	○	

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況






【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度（成果・課題）		自己評価		参考
				⇒		H28	(H27)	
7-①	図書館サービス係	■図書目録の高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARC Tタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【H28結果】	NDC（日本十進分類法）9版から10版への改訂について検討した。	⇒	○	
				【H29目標】	NDC（日本十進分類法）9版から10版への改訂を実施する。			
7-②	調査相談係	■図書目録の高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARC Tタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【H28結果】	郷土資料は目次含め不足の情報を追加するなど、詳細情報の充実に努めた。 新聞縮刷版の巻号登録をすすめた。 NDC（日本十進分類法）9版から10版への改訂について検討した。	⇒	○	
				【H29目標】	郷土資料は引き続き詳細情報の追加作業を継続する。 NDC（日本十進分類法）9版から10版への改訂を実施する。			
◆施策の方向性3◆ — 電子サービスの充実 —								
8	調査相談係	■紙媒体と電子媒体による情報提供	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》 ◆インターネット専用端末に調べ物用リンク集等を掲載 ◆無線LAN環境の整備の検討	【H28結果】	オンラインデータベースの拡充と来館者への開放についてはNo.4を参照のこと。 調べ物用リンク集の掲載情報について、整備を実施。 また、無線LAN環境の改善に努め、セキュリティキーの定期的な変更、ルーターの移動を実施した。トラブル発生時には、原因を分析し、適切な対処を行った。	⇒	○	 <p>●無線LANの利用可能なキャレルコーナー(中央図書館)</p>
				【H29目標】	引き続き、調べ物用リンク集のリンク切れの確認、情報の更新を実施する。 無線LANについては接続トラブルへの対処法を内部で共有し、快適な接続環境を維持よう努める。			
9	情報化推進担当係	■所蔵資料の電子書籍化の推進	◆電子化を拡大する資料の範囲を決定→実施	【H28結果】	・広報さっぽろ、議会だよりの最新号を発行直後に電子書籍化するなど、利用価値のある資料の電子化を検討、実践した。 ・独自資料の登録方法の公開範囲を、中央図書館内から地区図書館にも拡大した。 ・えほん図書館や図書・情報館の開館に合わせ、歴史的、文化的な資料の電子化の準備を進めた。	⇒	○	<p>【電子書籍の所蔵数】</p> <p>5,777冊（平成27年度末） →7,140冊（平成28年度末）</p>
				【H29目標】	・地域資料を中心に、利用価値のある資料の電子化を検討、実践していく。			
10	情報化推進担当係	■電子書籍貸出サービスの推進	◆電子書籍の貸出の研究⇒実施	【H28結果】	・視覚障がい者向け利用支援サイトを開設し、アクセシビリティを向上した。	⇒	○	<p>【電子書籍の貸出件数】</p> <p>23,339冊（平成27年度末） →31,011冊（平成28年度末）</p>  <p>●札幌市電子図書館HP</p>
				【H29目標】	・利用促進のための、新しいコンテンツの調達、システムの改善をしていく。 ・図書・情報館の開館などの機会を生かしてPRに努める。			
11	調査相談係	■情報リテラシー支援	◆資料・情報調査に関するパンフレット・マニュアルの整備 ◆資料・情報調査に関する講座を開催	【H28結果】	①パスファインダーの改訂。 ②「情報ガイド」9本作成。館内配布した（7,200枚）。 ③レファレンス事例集の発行（年2回）	⇒	○	 <p>●パスファインダー(左側)と情報ガイド(右側)</p>
				【H29目標】	①パスファインダーの改訂 ②レファレンス事例集の発行			






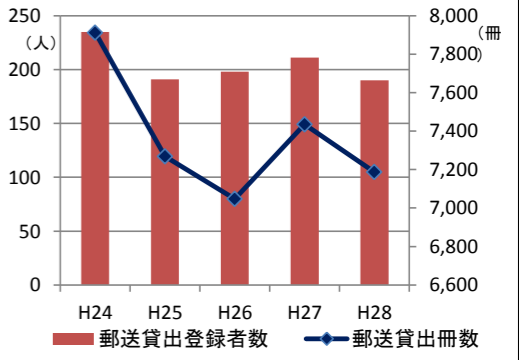

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度（成果・課題）		自己評価		参考
				平成29年度		H28	(H27)	
基本方針2 本・人・文化を結ぶ図書館								
◆施策の方向性1◆ — 新たな文化との出会いの場の提供 —								
12-①	地域支援係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H28結果】 【子ども向け行事】5回：CISE講座（サケ・恐竜）、おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、ハーモニカコンサート、日本ハムファイターズ選手による絵本読み聞かせ 【一般向け行事】9回：サイエンスフォーラム、美術への誘い、カルチャーナイト、いのちについて学ぶ展示会（こころのセンター共催） 【H29目標】 中央図書館の大規模改修が予定されているため、回数的に28年度と同様の水準を維持するのは難しいが、より一層の他団体との連携を図るとともに、様々な年代の利用者が興味を持ち図書館へ来館するきっかけづくりとなるような行事及び展示内容を工夫する。	⇒	○	○	 ●日本ハムファイターズ選手による絵本読み聞かせ
12-②	図書館サービス係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H28結果】 ＜子ども向けの行事・展示＞ 読み聞かせボランティアによるお話の会150回、工作会2回、映画会2回、図書館でオリエンテーリング1回、一日司書体験5回、ぬいぐるみのお泊り会2回、せかいの絵本おはなし会2回、展示5回（おばけ、クリスマス等）、ミニ展示8回（自由研究、動物の本等） ＜中学・高校生向け行事・展示＞ 常設展示テイクオフ3テーマ（メンタルヘルス、仕事、食）、交流掲示板（イラスト）職業について学ぼう1回、図書館からの脱出1回 ＜一般向け展示＞ 1階図書室展示9回（「知って楽しむ！オリンピック」、「文字・活字を生み出す力」、「話題の本を英語で読む！」等） 【H29目標】 中央図書館では、平成27年度から中高生向けの本のコーナー（ティーンズの森）を立ち上げ中高生向けサービスに力を入れており、引き続き中高生向けの行事・展示の充実を図っていく。	⇒	○	○	 ●展示の様子
12-③	調査相談係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H28結果】 サイエンス・フォーラムと連携した展示「わが街の文化遺産 札幌軟石」を実施。 【H29目標】 コンサドレー札幌と連携した展示やイベント、ドナルド・キーンセンターと連携した石川啄木巡回展ほか。	⇒	○	○	 ●図書室の展示（中央図書館）
13-①	図書館サービス係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【H28結果】 1階図書室展示9回（「知って楽しむ！オリンピック」、「文字・活字を生み出す力」、「話題の本を英語で読む！」等）、テーマに応じ貸出禁止の貴重資料などの展示も実施。 ウェブ上での告知及び展示の様子の掲載も実施した。 【H29目標】 引き続き利用者の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っていく。また、展示資料のブックリストの作成も検討する。	⇒	○	○	 ●図書室の展示（中央図書館）
13-②	調査相談係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【H28結果】 展示室の展示 「市電の車窓から」「わが街の文化遺産 札幌軟石」 図書室の展示 さっぽろ資料室ミニ展示「定山溪温泉開湯150年」「札幌の音楽とアートをめぐる」「のりもの温故知新～路面電車と北海道新幹線～」 小説にみる幕末・開拓期の北海道「スポーツで広がる札幌の輪」 HP さっぽろ資料室にて展示リスト掲載 参考図書展示 「難読読書展」とレファレンス事例紹介 【H29目標】 コンサドレー札幌と連携した展示 ドナルド・キーンセンターと連携した石川啄木巡回展 さっぽろ資料室ミニ展示、HP さっぽろ資料室に公開・展示リスト・写真等公開。	⇒	○	○	 ●展示室の展示（中央図書館）

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況





【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度の取組結果（成果・課題）		自己評価		参考
				⇒		H28	(H27)	
14	図書館サービス係	■図書館見学や職場体験の充実	◆司書体験や館内ツアーの多様化の検討と実施	⇒	○	○	 <p>●一日司書体験(カウンター体) ●一日司書体験(館内ツアー)</p>	
◆施策の方向性2◆ — 誰もが利用しやすい施設の整備とサービスの充実 —								
15	総務係	■案内表示等の充実	◆表示や設備のユニバーサル化について、23年度に中央館で実施 ◆地区館については24年度以降に中央館とのサイン表示の統一も視野に入れた検討及び予算要求を行う。	⇒	△	△	 <p>●えほん図書館に導入した自動貸出機</p>	
16	情報化推進担当係	■電算システムの更新	◆蔵書検索システム・業務システムの改善(子ども～高齢者まで使いやすい)、電子書籍貸し出し機能、SAPICAへの図書貸出券機能付加	⇒	○	○	 <p>●えほん図書館に導入した自動返却ボックス</p>	
17	図書館サービス係	■高齢者・障がいのある方向けの資料の充実と利用環境の整備	◆出版状況の調査やボランティア団体との連携による大活字本・大型絵本・大型絵本等の収集充実 ◆拡大読書器や宅配貸出の充実、視覚障がい者等に対応したWebサービスの導入	⇒	○	○	<p>【大活字本・拡大写本の所蔵数】 3,225冊(平成24年度末) →3,230冊(平成28年度末)</p> <p>【郵送貸出登録者数及び郵送貸出数の推移】</p> 	
18	図書館サービス係	■視聴覚障がい者情報センターとの情報の共有と発信	◆視聴覚障がい者へのサービス充実に向け、情報センターとの意見交換と研修の推進 ◆障がい者向けサービス掲載のパンフレット配布など、情報センター利用者へのPRを強化	⇒	○	○	<p>視聴覚障がい者情報センターとサービスの充実に向けた情報交換。「障害者サービス担当職員養成講座」へ図書情報専門員を派遣。</p> <p>視聴覚障がい者センターとは障がい者向けサービスの充実に向け引き続き情報共有を図るとともに、必要な方に必要な情報が届くようPRについても着実にやっていく。</p> <p>引き続き、「障害者サービス担当職員養成講座」へ職員を派遣していく。</p>	
◆施策の方向性3◆ — 子どもの読書環境の充実 —								
19	地域支援係	■普及事業の充実	幼児～高校生の読書促進施策の充実 ◆毎年度ごとに、子どもチャレンジプロジェクトの企画更新を続ける ◆おはなしマルシェほか子ども向け行事の充実(ボランティアとの協働、全館行事の強化) ◆中高生図書局員による同世代向け情報発信事業	⇒	○	○	 <p>●(中高生向け行事)ビブリオバトル</p>	




第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度（成果・課題）		自己評価		参考
				⇒		H28	(H27)	
20	図書館サービス係	■図書の展示やブックリストの充実	◆こどもの森内での時節や季節に応じた展示を充実し、児童生徒の読書への関心を喚起する ◆ミニ展示中の資料をリスト化して配布するほか、Web上でも公開する	⇒	○	○	 <p>●こどもの森(中央図書館)展示の様子</p>	
21	図書館サービス係	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆児童書研究資料の充実や各種目録を参考にした蔵書の充実 ◆児童サービス関係研修への参加や関係機関との情報交換等による児童担当職員の育成	⇒	○	○	 <p>●児童研究室(中央図書館)</p>	
22	図書館サービス係	■障がいのある子ども向け資料の充実	◆点字絵本、LLブック等のほか、関係団体との連携による適切な資料の研究と充実 ◆障がい児等に対応したWebサービスの導入	⇒	○	○	 <p>●えほん図書館に導入したデジタル絵本</p>	
23	図書館サービス係	■外国語の子ども向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実 ◆多文化理解のための各種行事の実施	⇒	○	○	 <p>●姉妹都市コーナー(えほん図書館)</p>	

基本方針3 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館

◆施策の方向性1◆ ー 積極的な情報発信 ー								
24	総務係	■ホームページや広報印刷物の充実	◆HPのコンテンツの充実を図る(ブックリストの掲載、近郊都市や大学研究機関の図書施設との相互リンクの作成など)。 ◆広報物の内容・種類の充実を図る。	⇒	△	○		
25	地域支援係	■普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各部局や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	⇒	○	○	 <p>●文字活字文化の日記念講演会</p>	

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況




【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度（成果・課題）		自己評価		参考
				⇒		H28	(H27)	
◆施策の方向性2◆ — 市民との協働 —								
25-②	調査相談係	■普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各部署や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【H28結果】 サイエンスフォーラムと連携して行った企画展「わが街の文化遺産 札幌軟石」、所蔵資料特別展「市電の車窓から」の実施、郷土資料を紹介するミニ展示など、市民と札幌の歴史・文化を結びつけるような事業を実施。 【H29目標】 図書館での実施意義を念頭に置きながらも、市内外問わず様々な機関との連携を積極的に進め、多様な情報発信に努める。コンサドレー札幌と連携した展示・イベント、 دونالد・キーンセンターと連携した石川啄木巡回展など札幌の歴史・文化を広めて、読書への興味を広げるような事業を実施予定。	⇒	○	○	 ●所蔵資料特別展「市電の車窓から」の様子
26-①	総務係	■満足度や評価についての調査の継続	◆日々利用者から寄せられる苦情・要望の分析（アンケートフォーム、市民の声を聞く課を通じた要望等） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB）	【H28結果】 日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上で公表した。 HPトップページに「図書館に寄せられた声」へのリンクを貼り、利用者がアクセスしやすいよう改善した。 【H29目標】 日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上での公表を継続する。	⇒	○	△	【中央図書館及び地区館の満足度の推移】  （％） H24 H25 H26 H27 H28 ●満足 87.2 84.8 82.9 82.7 83.5 ■不満 9.2 11.1 11.1 12.7 10.7
26-②	企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	◆市民の満足度調査として、利用者アンケートを実施（年度末） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB） ※H23年度：中央館+地区図書館、H24年度以降：区民・地区センター図書室への導入検討（区政課との協議）	【H28結果】 ・アンケート結果を次年度の計画等に反映させるため、中央館及び地区館について年内に取りまとめをした。また年度内に、図書室分の結果と合わせてWEB上で公表するとともに、中央館の結果を館内掲示した。 【H29目標】 ・専門的なサービスを行っているえほん館でのアンケート初実施、中央館での大規模改修工事があるため、それらに対応するよう質問項目の見直しを行う。またアンケート母数を増やし正確性の向上を図る。	⇒	○	○	
27	地域支援係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部署、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【H28結果】 読み聞かせボランティアによるお話会の他、CISE※4講座（北大博物館、豊平川さけ科学館等との連携）、おはなしどうぶつえん（円山動物園との連携）、カルチャーナイト（経済観光局との連携）、いのちについて学ぶ展示会（こころのセンター共催）、美術への誘い（ボランティア団体との連携）を実施 【H29目標】 中央図書館の大規模改修が予定されているため、回数的に28年度と同様の水準を維持するのは難しいが、社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討を行う。	⇒	○	○	 ●おはなしどうぶつえん
28	総務係	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【H28結果】 随時活動の場を提供した。 平成28年度実績 8団体に対し研修室等の貸出を行った。 【H29目標】 引き続き活動の場を提供する。（平成29年8月～は改修工事のため使用不可）	⇒	○	○	【中央図書館研修室等の貸出件数の推移】 <b>132件</b> （平成26年度末） → <b>134件</b> （平成27年度末） → <b>138件</b> （平成28年度末）
◆施策の方向性3◆ — 将来に渡って持続可能な図書館運営 —								
29	図書・情報館担当係	■都心にふさわしい図書館の検討	◆北1西1地区再開発事業として整備する「札幌市民交流プラザ」内に、札幌市図書・情報館を開設（平成30年度予定）するため、再開発準備組合が行う基本・実施設計との調整等を進める。 ◆図書館協議会等の意見を踏まえ、都心にふさわしい図書館の機能（対象、規模、運営体制、位置づけ等）の検討を進める。	【H28結果】 選定基準の決定と資料の第一次購入、札幌関連資料のデジタル化、備品リストの作成と設置計画に加え、共催セミナーの試行実施、情報ガイドの作成、昨年度のビジネス支援コーナー開設に引き続き、くらしの支援として「医療情報コーナー」を開設した。 【H29目標】 資料の第二次購入（20,000冊）、デザイン性・機能性に優れた備品の調達、ICタグ活用による新システムの開発、札幌魅力を伝えるデジタル映像の作成、広報活動、共催セミナーの開催など外部機関との連携強化を進める。	⇒	○	○	 ●図書・情報館完成イメージ



第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成28年度（成果・課題）		自己評価		参考
				⇒		H28	(H27)	
30	総務係	■計画的な施設・設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中央館・地区館の施設の問題点整理</li> <li>◆書庫拡大への検討・調整に伴う、施設整備計画（中央館：書庫増設や駐車場有料化の検討、地区図書館：エレベータ設置による会議室転用など書庫の配置を検討）の策定</li> <li>◆バリアフリーに対応した改修計画作成・実施 ◆保全計画など市関連部署の施策と連携した施設整備。</li> </ul>	<p>【H28結果】</p> <p>建築部と連携し、新琴似図書館（冷房換気設備）、東札幌図書館（冷房換気設備、外壁等）、曙図書館（電気設備）の保全・改修を行った。 また、29年度実施予定の中央館大規模改修及び書庫スペースの確保について建築部等関係部署と調整を行った。</p> <p>【H29目標】</p> <p>中央館において大規模改修を行う。また、書庫スペースの確保についても、引き続き埋蔵文化財センターと調整していく。</p>	⇒	○	◎	 <p>●平成29年度に大規模改修を行う中央図書館</p>
31	企画担当係	■民間活力導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆第2次図書館ビジョンに掲げるサービスを実現できるよう、民間活力の導入の効果と課題を配慮しながら、業務委託を検討していく。</li> </ul>	<p>【H28結果】</p> <p>・図書館協議会からの答申「生涯学習社会の中で札幌市図書館が果たすべき役割について」も考慮に入れながら、今後のあるべき姿について継続して検討を行った。</p> <p>【H29目標】</p> <p>図書館として考える上記役割に加え、第3次生涯学習構想で示される生涯学習行政の中での図書館の位置づけも考慮したうえで、引き続き検討を続けていく。</p>	⇒	○	○	
32	総務係	■図書、資料の充実に向けた寄付の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆図書資料の市民からの寄付喚起（ホームページや広報誌でのPR）</li> <li>◆図書購入費への充当を目的とした金銭の寄付喚起</li> <li>◆図書館備品等の寄贈の呼びかけ</li> </ul>	<p>【H28結果】</p> <p>HPトップページに「寄贈のお願い」へのリンクを貼り、市民への寄付喚起を行った。 図書・情報館に市民から3億円の寄付があった他、数件の寄付があった。</p> <p>【H29目標】</p> <p>引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。</p>	⇒	○	○	 <p>●札幌市図書館HP「寄贈のお願い」</p>
33	調査担当課	■職員の研修体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民対応等サービス向上のための基礎的な研修の実施</li> <li>◆業務の専門性を向上する研修の実施</li> </ul>	<p>【H28結果】</p> <p>「絵本講師」に加えて、「絵本専門士」の養成講座に受講者を送り、「えほん」図書館開館に向けた取り組みを進めた。また、国立国会図書館から講師を迎えて「ビジネス支援サービス研修」を開催し、「図書・情報館」開館に向けた専門性向上に努めた。さらに市民対応サービス向上に向け、新たに「障害者サービス担当職員養成講座」に受講者を送ると共に、全体講習として「児童サービス研修」「POP作成講座」等を実施した。</p> <p>【H29目標】</p> <p>「図書・情報館」（H30年度開館）に向けた人材育成に重点を置き、「ビジネス・ライブラリアン講習会」を札幌に誘致して受講者を多数参加させる。さらに、市民対応サービスの向上に向け、医療・健康や障害者サービス系の個別研修に受講者を参加させる。また、H28に引き続き児童サービス研修を実施すると共に、新たに選書や企画等に関する全体研修を実施して、総合的なスキルアップを図る。</p>	⇒	○	○	
	えほん図書館	■えほん図書館整備 ※新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆白石区複合庁舎の整備スケジュール（基本設計・実施設計）に合わせ、有識者懇談会や図書館協議会等の意見を踏まえ、えほん図書館の機能の検討を進める。</li> </ul>	<p>【H28結果】</p> <p>○増員により事務職員4人（係長、主査含む）専門員6人の体制を整え、図書登録、配架計画作成、書架等備品調達、複合庁舎関係部局との調整等、開館準備を進めた。また、年齢別おはなし会の試行を通してサービスプログラムの検証・充実を行ったほか、PR行事の開催、「えほんとしょかんじゅんびだより」の発行等を通して市民の周知を図るとともに、個人及び団体ボランティアの募集・登録を行い、開館後の事業展開に備えた。 ○平成28年11月7日に開館。開館日には、道内テレビ5局の中継が入ったほか、その後も新聞及び各種フリーペーパーなどの取材が相次ぎ、効果的なPRが実施できた。 ○広報の効果もあり、11月の来館者数は、のべ34千人、1日当たりの平均が1,456人で、中央図書館の平成27年度平均/日1,233人を上回った。12月以降は落ち着きが見られたが、開館から2月末までの来館者数はのべ87千人を超えた。年齢別おはなし会はリピーターも増えてきており、参加者数平均/回は37.2人となった。 ○団体利用及び訪問おはなし会の予約も順調で、1月には年度末までの実施可能日はほぼ予約で埋まった。 ○12月から個人ボランティア、1月からは団体ボランティアの活動も始まった。 ○新しいタイプの図書館に寄せる市民の期待を実感する滑り出しとなった。この好調さを維持するため、利用者ニーズを積極的に収集し、図書館運営及び事業展開につなげていくことが必要である。</p> <p>【H29目標】</p> <p>○団体利用及び訪問おはなし会の実施回数の増加 ○展示の充実 ○ボランティア、関係団体、機関、大学との連携を事業化する ○きめ細かな利用者サービスの一環として、フロア内の声掛けを積極的に行う</p>	⇒	◎	○	 <p>●えほん図書館の様子</p>  <p>●団体利用・訪問おはなし会の様子(えほん図書館)</p>

※1 レファレンス: 図書館が利用者へのサービスとして行う、情報提供や参考図書の紹介などの業務。  
 ※2 パスファインダー: 特定のテーマに関する資料や情報を収集するための手順を簡単にまとめたもの。

※3 ビブリオバトル: 参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたい本を投票で決めるイベント。  
 ※4 CISE: 北海道大学総合博物館を中心とした、札幌市周辺地域にある教育施設等で科学技術コミュニケーション活動を推進するネットワーク。